

事前調査のDX実現へ

ASA/metalaab

実践セミナーを開催

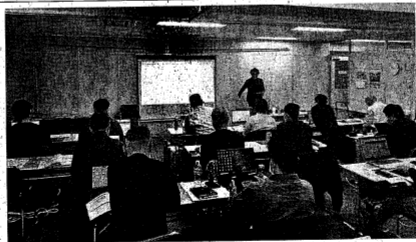
(一社)建築物石綿含有建材調査者協会(A S A)とmetalaab(東京・渋谷、前田淳司社長)は昨年12月1日、東京都内で「DXによる事前調査実践セミナー」を開催した。

ASAとmetalaabは、パートナーシップ協定を締結して、今回のセミナーはmetalaabが開発したアプリケーシ

ョン「石綿事前調査システム」をパソコンやタブレット端末で操作する内容となった。

セミナーでは書面調査として、ウェアシステムによる書面調査、ASAフォームによる石綿有無の推定、ウェアシステム・タブレットによる現地調査準備を行い、現地調査として、タブレットによる現地調査、ASAフォームによる現地調査チームによる現地調査整

セミナーの様子



理を実施した。

また、報告書作成として、ASAフォームによる報告書作成、ASAフォームによる

作業計画・掲示、ウェアシステムによる電子申請まで行っている。

講師を務めたのは、ASA副代表理事・兼事務局長の外山尚紀氏で、参加者にウェアシステム、専用アプリ(タブレット)、ASAフォームの使用

長は「石綿含有の推定には、石綿含有建材データベースを利用するが、データベースに存在しないことが石綿含有なしにつながるわけではないことを意識してほしい」と呼び掛けた。

また、セミナーの開催については「DXによって調査精度の改善や報告書作成業務の省力化にもつながる。事前調査は規模が大きくなる程混乱が生じる可能性がある。DXを活用することでそういった混乱を避けよう」と意図を説明した。

・活用方法を説明しながら、書面調査の際に注意すべき点等について紹介した。

外山副代表理事・兼事務局長